

トクソー技研

トクソー技研は福祉機器の開発を足がかりに介護現場向けの離床センサーや痰の自動吸引器などの医療機器まで事業領域を徐々に広げてきた。

今春には新型コロナウイルス感染症が広がる中で大分県内のモノづくり企業や大学とともに「チーム大分」を結成。資材不足が深刻だった医療現場向けに既存の取引先から調達した素材を活用し、フエースシールドを製品化した。

ちよつと訪問



徳永社長

ば」と徳永修一社長。早速、感染症対策製品として、室内の気圧を下げる陰圧装置の開発に取り組んだ。新たな感染拡大が懸念される中、年内にも製品化する見通しだ。

(大分)

「パンデミック(世界的大流行)は世の中を大きく変えた。私たちの仕事も変わっていかなければ

感染症対策製品 開発急ぐ

▽所在地 大分県宇佐市大根川3
18、0978・333・5595
▽資本金 1000万円
▽売上高 2億3000万円 (20年6月期)
▽従業員 26人
▽設立 97年(平9)10月